

朝鮮總督府官制中改正ノ件

大正八年七月十日 返上

国立公文書館  
利用上の注意

枢密院會議筆記及び同委員會議  
は、非公開の席上における発言を  
記録したものであります。したが  
って当該発言者の共同著作物と解  
されますので、引用等発表に際し  
著作権法上の問題の生ずることの  
ないよう特に御配慮願います。

国立公文書館

分類

配架番号

2 A

15-9

枢 D 428

大正八年七月

日會議議案

大正八年七月十日御沙汰ニ依リ  
返上

朝鮮總督府官制中改正ノ件

泰照添附

勅令第 號

朝官  
一

朝鮮總督府官制中左ノ通改正ス

第二條 總督ハ親任トス内閣總理大臣  
ノ監督ヲ承ケ諸般ノ政務ヲ統理ス

第三條 總督ハ安寧秩序ノ保持ノ為必  
要アルトキハ朝鮮ニ於ケル陸海軍ノ  
司令官ニ兵力ノ使用ヲ請求スルコト

ヲ得

第三條ノ二 總督陸海軍武官ナルトキ  
ハ委任ノ範圍内ニ於テ陸海軍ヲ統率  
シ及朝鮮防備ノ事ヲ掌ル

第四條 總督ハ其ノ職權又ハ特別ノ委  
任ニ依リ總督府令ヲ發スルコトヲ得

第九條 總督府ニ總督官房及左ノ五局

ヲ置ク

朝官ニ

内務局

財務局

殖産局

法務局

學務局

第十條 總督官房ニ庶務部土木部及鐵

道部ヲ置ク

總督官房各局及各部ノ事務ノ分掌ハ  
總督之ヲ定ム

第十一條 總督府ニ左ノ職負ヲ置ク

局長 勅任

部長 勅任

參事官 奏任

祕書官 奏任

事務官 奏任

視學官 奏任

編修官 奏任

技師 奏任

通譯官 奏任

屬 判任

朝官

三

視學 判任

編修書記 判任

技手 判任

通譯生 判任

前項職員ノ定員並參事官事務官及技師ノ内勅任ト為スコトヲ得ルモノノ負數ハ別ニ之ヲ定ム

朝官四

第十二條中「長官」ヲ「局長」ニ「各部」ヲ「各局

ニ」部務」ヲ「局務」ニ改ム

第十三條中「局長」ヲ「部長」ニ「局務」ヲ「部務

ニ改ム

第二十條ノ二中「内務部」ヲ「内務局」ニ改ム

第二十條ノ五中「農商工部」ヲ「殖産局」ニ改

ム

第二十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

總督陸海軍武官ナルトキハ總督府ニ

總督附武官二人及專屬副官一人ヲ置

ク

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮總督府各部長官

五十五

又ハ各局長ニシテ其ノ職ニ在ル者別ニ

辭令書ヲ交付セラレサルトキハ朝鮮總

督府内務部長官ハ朝鮮總督府内務局長

ニ朝鮮總督府度支部長官ハ朝鮮總督府

財務局長ニ朝鮮總督府農商工部長官ハ

朝鮮總督府殖産局長ニ朝鮮總督府司法

部長官ハ朝鮮總督府法務局長ニ朝鮮總

督府總務局長ハ朝鮮總督府庶務部長ニ  
朝鮮總督府土木局長ハ朝鮮總督府土木  
部長ニ朝鮮總督府鐵道局長ハ朝鮮總督  
府鐵道部長ニ同官等ヲ以テ任セラレ從  
前ノ俸給ヲ受クルモノトス

別ニ定ムルモノヲ除クノ外他ノ勅令中

朝鮮總督府各部長官トアルハ朝鮮總督

朝官  
六

府各局長朝鮮總督府內務部長官トアル

ハ朝鮮總督府內務局長朝鮮總督府度支

部長官トアルハ朝鮮總督府財務局長朝

鮮總督府農商工部長官トアルハ朝鮮總

督府殖産局長朝鮮總督府司法部長官ト

アルハ朝鮮總督府法務局長朝鮮總督府

ノ警務總長又ハ鐵道局長トアルハ朝鮮



總督府内務局長又ハ朝鮮總督府鐵道部長トス

参照

朝官七

○朝鮮總督府官制

明治四十三年九月勅令第百五十四号

第二條 總督ハ親任トス陸海軍大將ヲ以テ之ニ充ツ内閣總理大臣ノ監督ヲ承ケ諸般ノ政務ヲ統理ス

第三條 總督ハ天皇ニ直隸シ委任ノ範圍内ニ

於テ陸海軍ヲ統率シ及朝鮮防備ノ事ヲ掌ル  
總督ハ諸般ノ政務ヲ統轄シ内閣總理大臣ヲ  
經テ上奏ヲ為シ及裁可ヲ受ク

總督ハ治安秩序ヲ保持シ為必要アルトキハ

朝鮮ニ於ケル陸海軍ノ司令官ニ兵力ノ使用  
ヲ請求スルコトヲ得

第三條ノ二 總督陸海軍武官ナルトキハ委任  
ノ範圍内ニ於テ陸海軍ヲ統率シ及朝鮮防備  
ノ事ヲ掌ル

第四條 總督ハ其ノ職權又ハ特別ノ委任ニ依  
リ朝鮮總督府令ヲ發シ之ニ一年以下ノ懲役  
若ハ禁錮拘留二百圓以下ノ罰金又ハ科料ノ  
罰則ヲ附スルコトヲ得

第九條 總督府ニ總督官房及左ノ四部五局ヲ

置ク

朝官八

内務部内務局

度支部財務局

農商工部殖産局

司法部法務局

學務局

第十條 總督官房ニ總務局庶務部土木局部及  
鐵道局部ヲ置利ク内務部ニ學務局ヲ置ク  
總督官房各部局及各局部ノ事務ノ分掌ハ總

督之ヲ定ム

第十一條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

長官	四人	勅任
局長	四人	勅任
部長		勅任
参事官	三人	奏任 <small>内一人勅任 為スコトヲ得</small>
秘書官	三人	奏任
事務官	四十人	奏任
視學官	二人	奏任
編修官	二人	奏任
技師	四十四人	奏任 <small>内三人勅任 為スコトヲ得</small>

通譯官	專任	四人	奏任
屬			判任
視學			判任
編修書記	專任	四百六十一人	判任
技手			判任
通譯生			判任

渉外事務ヲ掌ル事務官ハ一人ヲ限り之ヲ勅任ト為スコトヲ得

前項職員ノ定員並ニ参事官事務官及技師ノ内  
勅任ト為スコトヲ得ル職員數ハ別ニ之

ヲ定ム

第十二條 長官局長ハ各部局長トシテ總督及政務總監ノ命ヲ承ケ部局務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

第十三條 副部長ハ上官ノ命ヲ承ケ副部務ヲ掌理ス

第二十條ノ二 内務部局ニ觀測所ヲ置キ氣象ニ関スル事務ヲ掌ラシム

觀測所ニ附屬測候所ヲ置クコトヲ得

第二十條ノ五 農商工部殖産局ニ地質調査所

ヲ置キ地質ノ調査ニ関スル事務ヲ掌ラシム

第二十一條 總督陸海軍武官ナルトキハ總督

府ニ總督附武官二人及專屬副官一人ヲ置ク

(第二項以下略)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮總督府各部長官又ハ各局長ニシテ其ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付

セラルベシトキハ朝鮮總督府内務部長官ハ朝鮮總督府内務局長ニ朝鮮總督府度支部長官ハ

朝鮮總督府財務局長ニ、朝鮮總督府農商工部長  
官ハ、朝鮮總督府殖産局長ニ、朝鮮總督府司法部  
長官ハ、朝鮮總督府法務局長ニ、朝鮮總督府總務  
局長ハ、朝鮮總督府庶務部長ニ、朝鮮總督府土木  
局長ハ、朝鮮總督府土木部長ニ、朝鮮總督府鐵道  
局長ハ、朝鮮總督府鐵道部長ニ、同官等ヲ以テ任  
セラルレ、従前ノ俸給ヲ受クルモノトス  
別ニ定ムルモノヲ除ク、外他ノ勅令中朝鮮總  
督府各部長官トアルハ、朝鮮總督府各局長、朝鮮  
總督府内務部長官トアルハ、朝鮮總督府内務局

朝官一

長朝鮮總督府度支部長官トアルハ、朝鮮總督府  
財務局長、朝鮮總督府農商工部長官トアルハ、朝  
鮮總督府殖産局長、朝鮮總督府司法部長官トアル  
ハ、朝鮮總督府法務局長、朝鮮總督府内務總  
長又ハ鐵道局長トアルハ、朝鮮總督府内務局長  
又ハ朝鮮總督府鐵道部長トス

○陸軍武官ニシテ朝鮮總督、臺灣總督

又ハ關東長官ノ官職ニ在ル者ノ分限

ニ關スル件勅令案

(大正八年勅令第九十八號中改正)

(墨書ハ現行朱書ハ改正)

勅令第 號

大正八年勅令第九十八號中左ノ通改正ス

陸軍武官ニシテ朝鮮總督、臺灣總督又ハ關東長

官ノ官職ニ在ル者ハ現役トス但シ豫備役、後備

役又ハ退役ノ武官ニシテ其ノ官職ニ在ル者ハ

此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス